

# 平成 28 年度愛知県障害者自立支援協議会地域生活移行推進部会検討状況等報告

## ◎ 精神障害者の地域移行支援について

地域にコア機関チームを育成し、地域の支援体制整備を図る。

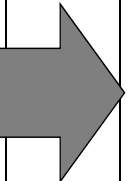
**現 状 (H29. 1. 27 現在)**

○平成 27・28 年度に精神障害者の地域移行支援の実績がある市 (15/54 市町村)

- (尾張東部圏域) あま市
- (尾張東部圏域) 瀬戸市、長久手市
- (尾張西部圏域) 一宮市
- (尾張北部圏域) 小牧市
- (知多半島圏域) 半田市
- (西三河北部圏域) 豊田市
- (西三河南部東圏域) 岡崎市
- (西三河南部西圏域) 刈谷市、安城市、西尾市
- (東三河南部圏域) 豊橋市、蒲郡市、田原市
- (名古屋圏域) 名古屋市

○平成 27・28 年度に精神障害者の地域移行支援の取組がある市町 (34/54 市町村)

- (尾張東部圏域) 愛西市、あま市、蟹江町
- (尾張東部圏域) 瀬戸市、日進市、長久手市
- (尾張西部圏域) 一宮市、稲沢市
- (尾張北部圏域) 春日井市、犬山市、小牧市、岩倉市
- (知多半島圏域) 半田市、東海市、大府市、知多市、阿久比町
- (西三河北部圏域) 豊田市、みよし市
- (西三河南部東圏域) 岡崎市、幸田町
- (西三河南部西圏域) 碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、知立市、高浜市
- (東三河北部圏域) 新城市、東栄町
- (東三河南部圏域) 豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市
- (名古屋圏域) 名古屋市



**今後の取組等**

- 市町村への対応 (今年度末に、地域移行支援の実績、取組があがらなかった市町村に対してどうするのかなど。)
  - ・今年度末時点の再調査を実施し、引続き市町村の進捗管理を行う。
  - ・指定一般相談支援事業所がない市町村の相談支援体制の充実を図る。
  - ・行政も参加した顔の見える身近な地域での研修会に、先進地域から講師を派遣し、自発的な地域の取組を促す(専門アドバイザーの活用。)
  - ・精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議
- 住まいの場の確保
  - ・グループホーム一辺倒ではない多様な住まいの場の確保 (居住支援メニューの提示)
  - ・サテライト型ホームの利用促進
- コア機関チーム活動の推進
  - ・コア機関チームのメンバーは地域によって可変 (福祉相談センターを入れたいという意見)
  - ・市町の温度差をそれぞれのコア機関チームで課題として捉える。
- 精神科病院等への対応
  - ・本人に意識をもってもらったために、今後はピアサポーターの活動が重要
  - ・地域移行機能強化病棟の活用

≪障害者相談支援アドバイザー会議において、同会議の今年度の情報共有事項とした。≫

## ◎ 地域生活支援拠点等の整備について

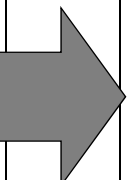
先行自治体の取組状況の情報提供など、市町村での取組の促進を図る。

**現 状 (H29. 1. 27 現在)**

○地域生活支援拠点等整備にかかる市町村の取組状況

- ・整備予定年度  
28 年度:2、29 年度:33、未定:19
- ・整備単位  
市町村域:24、障害保健福祉圏域:15、その他:7、未定:8
- ・整備形態  
面的整備:37、未定:16

○拠点等整備のゴール設定があいまいでゴールが見えない。



**今後の取組等**

- 市町村に対して地域生活支援拠点の整備について、検討スケジュールの照会を行い、市町村における計画的な進行管理を促す。
- 地域生活支援拠点等の客観的な整備指標
  - ・5つの機能 (①相談、②体験の機会・場、③緊急時の受入れ・対応、④専門的人材の確保・養成、⑤地域の体制づくり) を埋めていくことで判断 (県内全ての市町村が面的整備)
  - ・基幹相談支援センターがないところには成り立たない。指標の一つに基幹の有無をいれてはどうか。

≪障害者相談支援アドバイザー会議において、同会議の今年度の情報共有事項とした。≫

◎ グループホーム整備促進支援制度について

	6月	10月	1月
28年度	<b>【新規開設希望者・既設事業者向け説明会】</b> ・グループホームと整備促進支援制度 ・グループホーム運営の基礎 ・指定申請の基礎的知識 <b>&lt;実績&gt;</b> 6/16 名古屋会場 89名 6/30 岡崎会場 42名	<b>【グループホーム見学会・上映会】</b> ・見学会 物件選びのコツ、障害特性に合わせた工夫等の説明を交えたグループホーム(居宅)の見学会 ・上映会 DVDを用いたホームでの生活の具体的なイメージ <b>&lt;実績&gt;</b> 居宅見学 10/7-10/21(12日程) 75名 ビデオ上映 10/24・27 55名	<b>【相談会】</b> ・開設希望者のより具体的ニーズを把握し、開催 <b>&lt;実績&gt;</b> 1/17 30名(10名×3グループ)



29年度	<b>【新規開設希望者・既設事業者向け説明会】</b> 名古屋会場と岡崎会場で各1回ずつ実施し、それぞれそれぞれの会場で2部構成とする。 <b>1部 (新規開設希望者向けの内容)</b> ・グループホームについて基本的な説明 ・指定手続 <b>2部 (既設事業者向けの内容)</b> 運営ノウハウの提供、入居者確保、人材確保、人材育成、労務管理、サテライト、地域との連携等	<b>【グループホーム見学会・上映会】</b> ・見学会 物件選びのコツ、障害特性に合わせた工夫等の説明を交えたグループホーム(居宅)の見学会 ・上映会 DVDを用いたホームでの生活の具体的なイメージ ・新規開設希望者のみでなく、開設間もない既存事業者も対象とする。	<b>【相談会】</b> ・新規開設希望者のより具体的なニーズを把握し、開催する。
ねらい	・グループホーム運営の基礎 ・グループホーム開設のために必要なものを早期に知ってもらう(サービス管理責任者の資格等) ・指定手続を重点的に説明し、スムーズに指定が受けられるよう知識を身につけてもらう。 ・ホームを一つ開設した後、複数ホームを立ち上げの支援として、既設事業者向けの内容を強化	・グループホームとしての居宅を確保する際の参考としていただく。 ・開設間もない既設事業者に対して、他施設の取組を紹介し、より質の高い支援に繋げる。	・開設当初に起こりやすい問題の対応等について助言等の支援
関連事項	<b>【地域アドバイザー会議における情報共有・検討】</b> ・グループホーム支援コーディネーターが地域アドバイザー会議に参加し、地域アドバイザーと課題等について情報共有、検討を進める。	<b>【地域アドバイザーによる開設間もないホームのモニタリング】</b> ・グループホーム整備促進支援制度の活用状況 ・開設にあたり近隣住民との関係、苦勞している点など ・スタッフの人材確保など	<b>【グループホーム支援コーディネーター会議】</b> ・障害福祉課 事業所・地域生活支援Gが参加し、指定手続にかかる情報共有等を行う。

(参考)

・グループホーム住居数の推移(各年度4月1日現在)

	H26	H27	H28	H29.3.1現在
住居数	691	757	835	884
対前年度増減数	-	66	78	49

・グループホーム定員数の推移(各年度4月1日現在)

	H26	H27	H28	H29.3.1現在
定員数	3,511	3,903	4,376	4,666
対前年度増減数	-	392	473	290